

あなたにスマイル。LPガスの“安心”

災害対応



全ての人が安心して 暮らせる社会を、 LPガスは支えています。



「LPガスは災害に強いエネルギー」

いつ起こるかわからないのが災害だからいざというときのために、
この言葉を覚えておいてください。

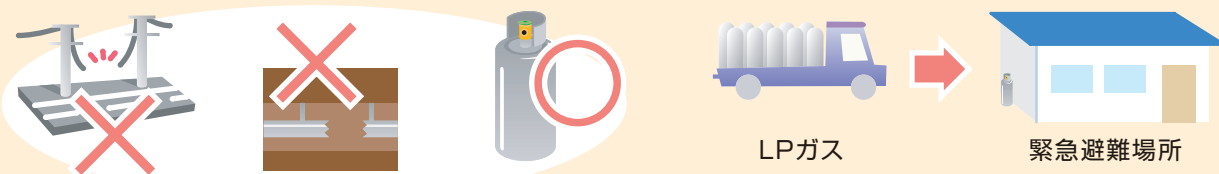
LPガスは日常の暮らしはもちろん、もしもの時にも活躍します。

災害に強いのはなぜ？

LPガスは分散型エネルギーだから、復旧が早い！

LPガスが災害に強いのはその特性にあります。LPガスは個別供給が中心的な形態。この供給方式をとっているからこそ災害時の被害を一戸単位に抑えることができるのです。また点検作業を順次に進めることができるので、素早い復旧が可能です。

災害時にも安定供給



場所を選ばないLPガスだから、避難所に素早く供給！



LPガスは、日本の全需要家件数の半数以上にあたる約2800万件のお客様に供給されています。

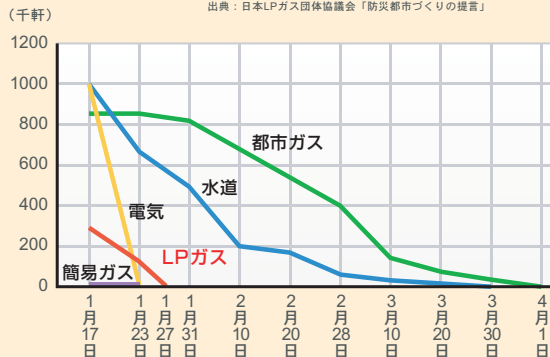
都市部から島嶼部・山間部、山小屋など、導管や電線を用いて供給する他エネルギーとは違い場所を選ばずに供給しています。

容易に持ち運びができて、設置に時間がかからないLPガスは、そのメリットを最大限に活かして避難場所での緊急炊き出しや仮設住宅の厨房・給湯などのエネルギーとして素早く対応することができます。

阪神・淡路大震災に見る、LPガスの災害対応力

個別供給だから、迅速な復旧が可能

阪神・淡路大震災におけるライフラインの復旧状況



復旧までにかかった
日数は約10日間

LPガスは導管を用いない個別供給。安全が確認できたご家庭からLPガスを使用することができます。

表を見ればおわかりのとおり阪神・淡路大震災発生後、完全復旧までかかった日数は約10日間。都市ガス、水道に比べて早い復旧を実現しました。

安全装置が整備されたLPガス

阪神・淡路大震災における火災原因

地震発生後に大きな被害をもたらすのが火災。例えば阪神・淡路大震災のとき、地震発生から10日間に神戸市内で発生した火災は全部で175件。原因が特定できた68件のうちLPガスを原因とする火災は0件でした。

件数 合計68件

38

電気

5

石油

4

都市ガス

21

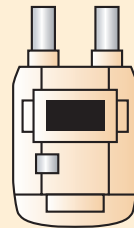
放火・その他

LPガス0件

注）合計件数は原因の特定できた火災
出典：神戸市消防局編集「阪神・淡路大震災における火災状況（神戸市域）」

地震時の火災を防ぐ安全機器マイコンメータ

LPガスを使用するご家庭のほとんどにマイコンメータが設置されています。本来LPガスの使用量を監視する機能を持ったマイコンメータは、地震時など異常が発生した場合に、自動的にガスを遮断します。その他にも、過大流量、異常長時間使用時にも自動的にガスを遮断し、ご家庭の安全を守ります。



ガスの流量を監視し、異常発生時には自動的にガスを遮断。

その他にも、CO警報器、ガス漏れ警報器、ヒューズガス栓などの安全装置が多くのご家庭で使用されています。

公共の施設にLPガス導入を

国や自治体に認められたLPガスの災害対応力

災害時に多くの実績を残してきたLPガスは、まさに災害に強いエネルギーとして国や自治体にも広く認知されています。

導管を用いて供給するネットワーク型のエネルギーはひとたび大きな災害が起きると広い地域で使用できなくなってしまいます。このような事態を防ぐためにも、病院や小学校、公民館などの指定避難場所に、LPガスのような各家庭へ個別に供給する分散型エネルギーを導入することが急がれています。

